

状況調査書
(鉄筋コンクリート造・共同住宅・1住戸)

(基本情報)

検査対象住宅	(住宅所有者)		
	(所在地)		
検査依頼主	(会社名・担当者)		
現況検査立会者	(会社名・担当者)		
構造	■RC造	階数	地上 階、地下 階
建築時期	年	延床面積	. m ²

検査者 氏名		印
建築士	建築士資格	() 登録 第 号
	建築士事務所	建築士事務所 () 知事登録 第 号
	建築士事務所名	
	建築士事務所住所	
受講したインスペクションに関する講習		講習名 講習団体
現況検査日時	年 月 日(天候)	
	: ~ :	
検査の結果		劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)

(目次)

	頁	部位	
A 外 部	1	【1】	バルコニー(構造)
	2	【2】	外壁(構造・雨水)
	3	【3】	柱・梁(構造)(A外部)
B 内 部	4	【4】	柱・梁(構造)(B内部)
	5	【5】	内壁(構造)
	6	【5】	内壁(雨水)
	6	【6】	天井(雨水)
	7	【7】	設備配管【給水・給湯管】
	7	【7】	設備配管【排水管】
	7	【7】	設備配管【換気ダクト】
C オ プ シ ョ ン	8		オプション
	9		オプション検査 基礎
	9		オプション検査 屋根・ルーフバルコニー
	10		オプション検査 床
	10		オプション検査 天井

※確認の程度の区分の凡例(第3面以降の確認欄の凡例)

- | | | |
|-------------------------|-----|----------|
| ① 「すべてまたはほとんどが確認できた」 | ... | 9割以上 |
| ② 「過半の部分が確認できた」 | ... | 5割以上9割未満 |
| ③ 「過半の部分が確認できなかった」 | ... | 1割以上5割未満 |
| ④ 「ほとんど確認できなかった」 | ... | 1割未満 |
| ⑤ 「まったく確認できなかった」 | ... | 0割 |
| ⑥ 「点検口等から目視可能な範囲で確認できた」 | | |

検査の結果	【1】バルコニー(構造)	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)		
-------	--------------	--	--	--

部位等		【1】バルコニー(構造)		
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【構造】支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化(さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。)	☐ア 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化等が確認されない ☐イ 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化等が確認される a. 支持部材、床の著しいぐらつき、ひび割れ又は劣化が確認された場所 ()
	A外部	現況検査できなかった箇所 () 理由 ()		
備考				

検査の結果	【2】外壁 (構造)	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)	【2】外壁 (雨水)	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)
-------	---------------	--	---------------	--

部位等		【2】外壁(構造)			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
	A外部	現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	仕上げの種類の確認	☐ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ(Ⅰに記入) ☐ イ タイル仕上げ(湿式工法)又は塗壁仕上げ等(Ⅱに記入)
			Ⅰ. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合		
			(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	☐ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される(下表に記入) a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 ()mm	
			(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	☐ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される(下表に記入) a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ ()mm	
			(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化	☐ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される(下表に記入) a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある	
			(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	☐ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される(下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()	
			(5) 【構造】鉄筋の露出	☐ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される(下表に記入) a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()	
			Ⅱ. タイル仕上げ(湿式工法)又は塗壁仕上げ等の場合		
			(1) 【構造】下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落(乾式仕上、タイル仕上(湿式工法)の場合)	☐ ア 下地材に至るひび割れ、欠損、浮き、はらみ又は剥落が確認されない ☐ イ 上記の劣化事象等が確認される(下表に記入) a. ひび割れ等が確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ ()mm	
(2) 【構造】複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損			☐ ア 複数の仕上げ材にまたがるひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ 上記の劣化事象等が確認される(下表に記入) a. ひび割れ等が確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅又は最大欠損の深さ ()mm		
Ⅱ. タイル仕上げ(湿式工法)の場合					
(4) 【構造】仕上げ材の著しい浮き(乾式仕上げ以外の場合)	☐ ア 仕上げ材の著しい浮きが確認されない ☐ イ 仕上げ材の著しい浮きが確認される(下表に記入) a. 著しい浮きが確認された場所 ()				
【2】外壁(雨水)					
	確認欄※	検査項目	確認内容		
	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	仕上げの種類の確認	【2】外壁(構造)に記入		
現況検査できなかった箇所 () 理由 ()		(1) 【雨水】シーリング材や防水層の破断、欠損	☐ ア シーリング材や防水層の破断、欠損が確認されない ☐ イ シーリング材や防水層の破断、欠損が確認される(下表に記入) a. シーリング材や防水層の破断、欠損が確認された場所 ()		
		(2) 【雨水】屋外に面する建具や建具廻りの隙間や破損、建具廻りのシーリング材の破断、開閉不良	☐ ア 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認されない ☐ イ 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認される(下表に記入) a. 建具や建具廻りの隙間や破損、開閉不良が確認された場所 ()		
		(3) 【雨水】建具廻りのシーリング材の破断	☐ ア 建具廻りのシーリング材の破断が確認されない ☐ イ 建具廻りのシーリング材の破断が確認される(下表に記入) a. 建具廻りのシーリング材の破断が確認された場所 ()		

検査の結果	【3】柱・梁 (構造) (A外部)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)		
-------	----------------------	---	--	--

部位等		【3】柱・梁(構造) (A外部)			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
	A外部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損 (さび汁、エフロレッセンス又は鉄筋の露出を含む。)	☐ア ひび割れが確認されない ☐イ ひび割れが確認される(下表に記入) a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 ()mm ☐ア 欠損が確認されない ☐イ 欠損が確認される(下表に記入) a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ ()mm ☐ア 著しい劣化が確認されない ☐イ 著しい劣化が確認される(下表に記入) a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ア ない ☐イ ある C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ア ない ☐イ ある ☐ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される (下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 () ☐ア 鉄筋の露出が確認されない ☐イ 鉄筋の露出が確認される(下表に記入) a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()	
現況検査できなかった箇所 () 理由 ()		(2) 【構造】柱の著しい傾斜	☐ア 柱の著しい傾斜が確認されない ☐イ 柱の著しい傾斜が確認される(下表に記入) a. 最も傾きがある場所 () b. 当該部分の傾斜 (/ 1,000)		
備考					

検査の結果	【4】柱・梁 (構造) (B内部)	劣化事象 (☐ 有り、 ☐ 無し)		
-------	----------------------	---	--	--

部位等		【4】柱・梁(構造) (B内部)				
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容		
	B内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損 (さび汁、エフロッセンス又は鉄筋の露出を含む。)	☐ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される(下表に記入)		
		現況検査できなかった箇所 () 理由 ()		a. ひび割れが確認された場所 ()		
				b. 最大のひび割れ幅 ()mm		
				☐ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される(下表に記入)		
				a. 欠損が確認された場所 ()		
				b. 最大欠損の深さ ()mm		
				☐ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される(下表に記入)		
				a. 著しい劣化が確認された場所 ()		
				b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある		
				C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある		
		(2) 【構造】柱の著しい傾斜	☐ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される (下表に記入)			
			a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()			
			☐ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される(下表に記入)			
			a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()			
			☐ ア 柱の著しい傾斜が確認されない ☐ イ 柱の著しい傾斜が確認される(下表に記入)			
			a. 最も傾きがある場所 ()			
			b. 当該部分の傾斜 (/ 1,000)			
備考						

検査の結果	【5】内壁(構造)	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)		
-------	-----------	--	--	--

部位等		【5】内壁(構造)				
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容		
	B内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ 現況検査できなかった箇所 () 理由 () ※仕上げの種類で「イ その他仕上げ等」を選択した場合は、仕上げの種類を記入の上で、躯体の状況が確認できなかった理由を記入する	仕上げの確認	☐ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ(Ⅰに記入) ☐イ その他仕上げ等		
			Ⅰ. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合			
			(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	☐ア ひび割れが確認されない ☐イ ひび割れが確認される(下表に記入) a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 ()mm		
			(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	☐ア 欠損が確認されない ☐イ 欠損が確認される(下表に記入) a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ ()mm		
			(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化	☐ア 著しい劣化が確認されない ☐イ 著しい劣化が確認される(下表に記入) a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ア ない ☐イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ア ない ☐イ ある		
			(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	☐ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される(下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()		
			(5) 【構造】鉄筋の露出	☐ア 鉄筋の露出が確認されない ☐イ 鉄筋の露出が確認される(下表に記入) a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()		
備考						

検査の結果	【5】内壁 (雨水)	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)	【6】天井 (雨水)	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)
-------	---------------	--	---------------	--

部位等		【5】内壁(雨水)			
劣化 状 況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
	B 内 部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【雨水】内壁の雨漏りの跡	☐ ア 内壁の雨漏りの跡が確認されない ☐ イ 内壁の雨漏りの跡が確認される(下表に記入)	
		現況検査できなかった箇所 ()		a. 内壁の雨漏りの跡が確認された場所 ()	
		理由 ()			
		【6】天井(雨水)			
		確認欄※	検査項目	確認内容	
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	(1) 【雨水】天井の雨漏りの跡	☐ ア 天井の雨漏りの跡が確認されない ☐ イ 天井の雨漏りの跡が確認される(下表に記入)	
		現況検査できなかった箇所 ()		a. 天井の雨漏りの跡が確認された場所 ()	
		理由 ()			
備考					

検査の結果	【7】設備配管	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)		
-------	---------	--	--	--

部位等		【7】設備配管【給水・給湯管】			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
	B内部	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(1) 【設備配管】給水管、給湯管の発錆による赤水	☐ ア 発錆による赤水が確認されない ☐ イ 発錆による赤水が確認される(下表に記入) a. 発錆による赤水が確認された場所 ()	
			(2) 【設備配管】給水管、給湯管からの漏水	☐ ア 漏水が確認されない ☐ イ 漏水が確認される(下表に記入) a. 漏水が確認された場所 ()	
		【7】設備配管【排水管】			
		確認欄※	検査項目	確認内容	
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(1) 【設備配管】排水の滞留	☐ ア 排水の滞留が確認されない ☐ イ 排水の滞留が確認される(下表に記入) a. 排水の滞留が確認された場所 ()	
			(2) 【設備配管】排水管の漏水	☐ ア 排水管の漏水が確認されない ☐ イ 排水管の漏水が確認される(下表に記入) a. 漏水が確認された場所 ()	
		【7】設備配管【換気ダクト】			
		確認欄※	検査項目	確認内容	
	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥ 現況検査できなかった箇所 () 理由 ()	(1) 【設備配管】換気ダクトの脱落	☐ ア 換気ダクトの脱落が確認されない ☐ イ 換気ダクトの脱落が確認される(下表に記入) a. 換気ダクトの脱落が確認された場所 ()		

オプション					
	A外部 B内部	検査の有無	検査項目	確認内容	
劣化状況	A 外部	☐ 検査あり	(1) 非破壊検査機器を用いた検査 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される(下表に記入) a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()	
		☐ 検査あり	(1) 申込み住宅のキッチンコンロ、換気扇やパナソニックエアコン等の設備機器の作動不良等の検査 (検査内容) ()	☐ ア 作動不良が確認されない ☐ イ 作動不良が確認される(下表に記入) a. 作動不良が確認された場所 () b. 作動不良の状況 ()	
	B 内部	☐ 検査あり	(2) 申込み住宅の給排水設備、電気設備、ガス設備 (検査内容) ()	☐ ア 作動不良が確認されない ☐ イ 作動不良が確認される(下表に記入) a. 作動不良が確認された場所 () b. 作動不良の状況 ()	
		☐ 検査あり	(3) 申込み住宅の汚損等、清掃により解消可能なものの検査 (検査内容) ()	☐ ア 汚損が確認されない ☐ イ 汚損が確認される(下表に記入) a. 汚損が確認された場所 () b. 汚損の状態 ()	
		☐ 検査あり	(4) 非破壊検査機器を用いた検査 (検査内容) ()	☐ ア 異常が確認されない ☐ イ 異常が確認される(下表に記入) a. 異常が確認された場所 () b. 異常の状況 ()	
		☐ 検査あり ※コンクリートの圧縮強度検査は圧縮強度欄に、鉄筋の本数、配置検査は、鉄筋探査欄に記入	(1) 【構造】コンクリートの圧縮強度 (検査位置) ()	☐ ア コンクリートの圧縮強度が確認できない ☐ イ コンクリートの圧縮強度が確認できる(下表に記入) a. コンクリートの圧縮強度を確認した場所 () ☐ ア 反発度 a. 測定値 ()	
	鉄筋探査	☐ 検査あり 非破壊検査機器による検査【鉄筋の本数及び間隔】	(1) 基礎における鉄筋の本数及び間隔 (検査位置) ()	☐ ア 立ち上がり補強筋間隔が@300以内、または設計図書以内 a. 補強筋間隔 (@ mm) ☐ イ 補強筋間隔が@300以上、または設計図書以上(下表に記入) b. 補強筋間隔が適切ではない場所 ()	
		☐ 検査あり 鉄筋探査による検査【鉄筋の本数及び間隔】	(1) 基礎における鉄筋の本数及び間隔 (検査位置) ()	☐ ア 底版補強筋間隔が@300以内、または設計図書以内 a. 補強筋間隔 (@ mm) ☐ イ 補強筋間隔が@300以上、または設計図書以上(下表に記入) b. 補強筋間隔が適切ではない場所 ()	
	備考				

検査の結果	オプション検査 基礎	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)	オプション検査 屋根 ルーフバルコニー(雨水)	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)
-------	------------	--	----------------------------	--

部位等		オプション検査 基礎			
劣化状況	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
		☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	(1) 【構造】幅0.5mm以上のひび割れ	☐ア ひび割れが確認されない ☐イ ひび割れが確認される(下表に記入) a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 ()mm	
	現況検査できなかった箇所 ()	(2) 【構造】深さ20mm以上の欠損	☐ア 欠損が確認されない ☐イ 欠損が確認される(下表に記入) a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ ()mm		
	理由 ()	(3) 【構造】コンクリートの著しい劣化	☐ア 著しい劣化が確認されない ☐イ 著しい劣化が確認される(下表に記入) a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ア ない ☐イ ある c. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ア ない ☐イ ある		
		(4) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損	☐ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される(下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()		
		(5) 【構造】鉄筋の露出	☐ア 鉄筋の露出が確認されない ☐イ 鉄筋の露出が確認される(下表に記入) a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()		
	オプション検査 屋根・ルーフバルコニー(雨水)				
	確認欄※	検査項目	確認内容		
	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【雨水】防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合	☐ア 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認されない ☐イ 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認される(下表に記入) a. 防水層の著しい劣化又は水切り金物等の不具合が確認された場所 ()		
	現況検査できなかった箇所 ()				
理由 ()					
備考					

検査の結果	オプション検査 床(構造)	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)	オプション検査 天井(構造)	劣化事象(☐ 有り、 ☐ 無し)
-------	---------------	--	----------------	--

部位等		オプション検査 床(構造)			
	A外部 B内部	確認欄※	検査項目	確認内容	
劣化状況	C オプション	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤	(1) 【構造】著しいひび割れ、劣化又は欠損(さび汁、エフロッセンス又は鉄筋の露出を含む。)	☐ ア ひび割れが確認されない ☐ イ ひび割れが確認される(下表に記入) a. ひび割れが確認された場所 () b. 最大のひび割れ幅 ()mm	
		現況検査できなかった箇所 ()		☐ ア 欠損が確認されない ☐ イ 欠損が確認される(下表に記入) a. 欠損が確認された場所 () b. 最大欠損の深さ ()mm	
		理由 ()		☐ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される(下表に記入) a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある	
				☐ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される(下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()	
				☐ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される(下表に記入) a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()	
			(2) 【構造】6/1,000以上の勾配の傾斜(凹凸の少ない仕上げによる床の表面における2点(3m程度離れているものに限る。)の間を結ぶ直線の水平面に対する角度をいう。)	☐ ア 著しい傾斜が確認されない ☐ イ 著しい傾斜が確認される(下表に記入) a. 最も傾きがある場所 () b. 当該部分の傾斜 (/ 1,000)	
		オプション検査 天井(構造)			
			☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤ ☐ ⑥	仕上りの種類の確認	☐ ア コンクリート打放し又は塗装仕上げ(Iに記入) ☐ イ その他仕上げ等
		現況検査できなかった箇所 ()	I. コンクリート打放し又は塗装仕上げの場合		
		理由 ()	(1) 【構造】コンクリートの著しい劣化	☐ ア 著しい劣化が確認されない ☐ イ 著しい劣化が確認される(下表に記入) a. 著しい劣化が確認された場所 () b. 広範囲に及ぶひび割れの有無 ☐ ア ない ☐ イ ある C. 広範囲に及ぶ欠損の有無 ☐ ア ない ☐ イ ある	
	(2) 【構造】さび汁を伴うひび割れ又は欠損(エフロッセンスを含む)	☐ ア さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認されない ☐ イ さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認される(下表に記入) a. さび汁を伴うひび割れ又は欠損が確認された場所 ()			
	(3) 【構造】鉄筋の露出	☐ ア 鉄筋の露出が確認されない ☐ イ 鉄筋の露出が確認される(下表に記入) a. 鉄筋の露出が確認された場所 ()			